



簡易担架で搬送訓練。持ち手に力を込めて、真剣さが伝わります。

それいゆ 広報

Vol.135

医療法人同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ
TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック
TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063
- 折茂医院
TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション
TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ
TEL0577-37-3360
- 病児保育室プティそれいゆ
TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ
TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ
TEL0577-35-0710
- シャロン・ド・それいゆ
TEL0577-34-5026
- Dr. Orishige ビオメゾン
TEL0577-37-0800
- デイサービスセンター れぞみ
TEL0577-37-5666
- りあん・ど・それいゆ
TEL0577-32-8166

ご利用者様ご家族様、各関係機関並びに事業者の皆様には、当法人の事業運営に対しましてご理解とご協力、ご指導を賜り誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス発生から四年目、今年の五月八日から法律上の位置付けが二類相当から五類感染症となり、季節性インフルエンザと同じ位置付けとなりました。同時にこれまで執られてきた特別措置法に基づく感染対策上の制限が緩和され、人の動きも大分戻りつつあります。四月に開催された春の高山祭は二日間で十六万八千人、コロナ禍前の十八万二千人に対して九割まで回復し大変な賑わいでした。最近では、他県ナンバー車の市内流入が増え、海外からの観光客も多数見かけるようになり観光業界は活気を取り戻し回復の兆しを感じられます。

一方で当施設は、これまで感染対策上の面会制限や外部交流の自粛等をお願いし、皆様には大変なご負担をお掛けしました。今後は制限を緩和しコロナ禍前の賑わいある状況にすべく取り組んで参ります。

しかしながら、感染症リスクの高い高齢者に関する我々介護事業者は、皆様が「安心・安全・安楽」にご利用いただけるよう基本的な感染対策を押さえつつ、これまでの経験を糧に感染防止に努めて参る所存です。

前段で触れたコロナ対応の制限緩和をはじめ、『次につながるために今、取り組んでいること』を以下に紹介し、施設運営について更なるご理解をいただきますよう宜しくお願い致します。

【コロナ対応の制限緩和】

入所者様の面会はオンライン面会としておりまし

介護老人保健施設における 取り組み



介護老人保健施設それいゆ
事務長 一戸康弘

たが、対面による面会をしていただけのようになりました。今のところ予約制で一日一組、平日（土日祝日を除く）十四時三十分頃から十五分間とさせていただきます。ご予約の際には留意事項等お伝えします。今後の感染状況により対応が変わることがありますので、その都度お知らせします。

また、地域に開かれた施設であることが本来の老健の姿です。利用者様にいきいきと楽しくご利用いただけるよう地域交流も進めて参ります。慰問ボランティア等も受付けておりますのでご連絡いただくと幸いです。

【BCP及び避難確保計画の策定】

最近では想定外の自然災害や感染症のクラスター等により事業運営に多大な損害を及ぼす事案が増えています。国の方針として事業者には今年度中のBCP（事業継続計画）策定が義務付けられています。当施設ではBCP委員会によって策定が進み、全職員への周知と関連した訓練を実施しています。また、浸水害を想定した避難確保計画も策定しBCPと併せて運用を開始しています。

【職員研修制度の充実】

介護人材の不足感が否めない昨今、施設職員は日々の業務に追われ研修や自主学習に取組み難くなっている現状です。そこで教育委員会が中心になり抜本的に研修の受講方法とカリキュラムを見直しました。基準条例で必須の項目はもとより、専門の分野は細分化してwebで場所と時間を選ばず学習できる仕組みを取り入れ、小テストにより受講確認と単位が取得できる新しい研修制度をスタートしました。

委員会・専門部会の取組み

食事委員会

『ご利用者様一人ひとりに安全かつ美味しい食事を提供するために、各部署・多職種それぞれの観点から日々の食事を観察し、迅速な対応をする。』

ご利用者様お一人おひとりに対して、食形態・量は適切か、安全に食事摂取できているか、摂取量が落ちていないかなど、職員それぞれの専門性を生かして安全かつ美味しい食事提供を実施します。また、ご利用者様の食事の好みの傾向を捉え、食事委託業者との連携のもとご利用者様の食事満足度の向上を目指します。

教育委員会

『今年度以降の教育プログラムを、教育委員会自らが理解できるように努め、周囲のスタッフへの助言ができるようになることで、システムの定着を図る。』

努力目標

『単位制における履修率を数値化し、全職員の履修率七割以上を目指す。』

感染防止委員会

『コロナ禍で培った経験をいかして感染症に強い施設を作る』

三年余のコロナ禍で、クラスター発生を経験し、多くのことを学ぶことができました。感染防止の知識、技術、知見を活かしあらゆる感染症に強い施設を目指したいと考えております。

この三年の厳しい感染防止対策に、ご利用者様、ご家族様にはご理解ご協力をいただきました。本当にありがとうございます。今年度は感染対策を重視しながら、緩和

和できることを増やしていきたいと考えております。今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

入浴・環境・排泄委員会

【入浴委員会】

『利用者様に満足して頂ける入浴・環境の提供と、働く環境を整える』

『それいゆのお風呂は最高だ。』と言っていただけ入浴・介助・環境の提供を目指します。働くスタッフの環境も整えていきます。

●イベント風呂を開催しています。

五月…菖蒲湯 六月…ヨモギ湯
九月…林檎湯 十二月…ミカン湯
二月…ヒノキ湯

【排泄委員会】

『利用者様の視点での排泄ケアへの意識向上とコスト管理』

①トイレ内を清潔に保つ。

②バット・オムツの現状・使用するバット使用の見直しを行い、改善や、問題点など委員会に報告し、施設内で共有していきます。

③昨年度から行っている、全ての利用者様の一日一回以上陰部洗浄を行うことで利用者様の清潔保持と尿路感染を防いでいきます。

【環境委員会】

『清潔で快適な環境の提供と安全管理』

寝具・施設内の環境・車椅子など、利用者様に清潔・快適・安全に過ごして頂ける様に、整備点検を行います。

認知症専門部会

『専門職として認知症という病気や症状について知る』

認知症のBPSD(周辺症状)は環境の変化によって悪化したり、対応によって軽減

することもあります。私たちは専門職として、「認知症」についての知識、技術力の向上に努め、利用者様が不自由と感じやすい施設生活を、心穏やかに過ごして頂くことを目標とします。

事故防止委員会

『それいゆに合った、事故防止マニュアルの作成が行える』

令和五年度の取り組み計画

- マニュアルを見直す
- 研究を進める
- KYTの継続
- TARを導入
- 個々の事故報告書の内容を精査し指導していく。

コロナ禍で委員会が中断が続いてしまい、KYTを継続して行うことが出来なかった。ヒヤリハットも前半は件数が多かったが、後半は少なく、決まったスタッフしか記入がされなかった。コロナ対策等で業務が変更になり、スタッフ間でも混乱と、業務の煩雑化により、ヒューマンエラーが多かった。事故への対策では対策の話し合いが遅れてしまい、報告書の作成の遅延もあった。スタッフ一人ひとりの危険への認識が薄く、ヒヤリハットを報告するスタッフも同一スタッフが多い現状であった。各スタッフ間でちゃんとコミュニケーションをとってヒューマンエラーの予防に努めていきたい。書くように心がけていても業務に追われ忘れるスタッフや、ヒヤリハットを書くという意識がでないスタッフもいた。今年度は記録を定着する事から行う必要性がある。事故報告書は文章を書くことが苦手なスタッフが多く、書くことに時間を取られてしまう傾向がある。一つ一つの事故報告書を精査し、個々への指導につなげたいと思っている。

口腔ケア部会

『口腔ケアアセスメントシートを百%記入、個々の利用者様のアセスメントをスタッフが周知できる』

- 口腔ケアアセスメントシートの百%記入、アセスメントがスタッフで共有、周知できることを目標に、口腔ケアアセスメントシートの見直しを随時行う。
- 口腔ケアアセスメントシートがより見やすく、記入しやすいように見直しを行う。
- 職員教育では、動画の視聴と小テストを行い口腔ケアの必要性、基本的技術が周知できるよう職員に働きかけていく。

リスクマネジメント委員会

『事故対策・感染対策・拘束廃止・虐待防止・褥瘡予防』

『直面する課題、想定される課題の分析・評価・対策・実行を周知し遂行する』

各部門関連性がありあらゆる側面から一元的に評価対応等統括管理する。部門毎に指針の策定並びに見直しを行い周知徹底する。

学習療法委員会

『いいね！を探し、次につながる学習支援を行う』

学習者一人ひとりの目標を意識し、「また、明日も頑張りたい」と感じて頂けるよう、楽しく充実した学習支援を行う。

スタッフの観察力の強化を図り、コミュニケーション力の向上を目指す。



防災委員会

『今後来る災害に備えて、これまで行ってきた訓練の継続と新たな訓練や試みを行っていく』

火災に対してはこれまで年二回の避難訓練と放水訓練を実施していたが、今年度は消火訓練も実施予定としている。また水害に対しては昨年度より避難確保計画を作成し、それに順じた避難が実施できるよう利用者様の垂直避難や水平避難のための災害時の介助訓練を新たに実施予定としている。また地震想定訓練では非常用簡易トイレの設置訓練も行っていく予定である。

衛生委員会

『無災害運動の継続(目標時間二十四万一千三百二十時間)』

①安全衛生計画に基づき全員参加の安全活動に取り組む。

②従業員の心の健康は、従業員とその家族の幸福な生活・活気のある職場のために重要な課題であることを認識し、メンタルヘルス不調への対応だけでなく、職場のコミュニケーションの活性化など心の健康づくりに取り組む。

レクリエーション委員会

『皆さんに楽しんでいただけるようなレクリエーションを提供し参加人数を増やす』

今までのレクリエーション内容の見直し、かつバリエーションを増やしていき、さらに利用者様に楽しんで頂けるような内容作りを目指します。また、誰もが参加しやすいような環境設定にも努めていきます。

ケアプラン委員会

前期『充実したミニタリングが行える』
後期『主体性を持ったカンファレンスが行える』



飛騨総社例祭

：5月4、5日

獅子舞、子供神輿、闘鶏楽が施設内を回られました。ありがとうございました。



イベント風呂：5月31日～6月2日

今月は菖蒲湯！ピシッ！パシッ！いい湯やなあ！



運動会：5月15日

老いも若きもチームワークやあ！



Dr. Orie's Home Bio-Meizin

介護長 澤 浦 恒 子

若葉が深い青葉になる季節になりました。新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが五類に移行し、利用者様のマスクのない笑顔が見られるようになることを心から嬉しく思います。

新年度Bioメゾンでは、介護記録ソフト導入に向けて研修を行っています。

現在は紙カルテを使用し、利用者様の生活状況、体調観察、スタッフの情報共有として申し送り兼日報として記録しています。

紙カルテのデメリットとしては保管スペースが年々増えていく。情報共有しにくい。記入ミス、記入漏れがある。字が読みにくい。記入が苦手で遅い。同じ事をいくつも記入しなくてはならないなど様々です。

研修を行っていくうえで感じたことは、利用者様の情報を入力するだけで、見たい情報がリアルタイムで共有でき、時間短縮が出来る。記録した情報を、各書式や統計にして活用できる。だんだん自分の中でイメージがわいてきて、ワクワクしました。

データ共有は法人全体に及びますので介護の質の向上につながり、利用者様に寄り添ったサービスの提供が出来るように



なります。しかし、スタッフの中には電子機器の取り扱いが苦手な人や、取り扱いに慣れるまで時間を要する人もいると思います。これからの研修で学んだことをスタッフ全員で一緒に学び、導入したことにより、利用者様の状態や観察事項等でいち早く対応でき統一した介護が行えることを目標に、苦手意識を払拭し、楽しく学ぶことができるように取り組んでいきたいと思っています。

日頃はケアプランセンターそれいゆの業務にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症も二類から五類に移行し、社会活動や日常生活の様々な規制も緩和され三年前の日常を取り戻しつつあり嬉しさも感じています。

ケアマネジメント業務では五類移行前はコロナ感染症に係る臨時的な対応や特例がありました。

たとえば担当者会議は招集や対面でなく電話が可能だったり、毎月のモニタリング訪問はやむを得ない場合の中止も可能になるなど感染予防の観点から加算要件を含め様々な柔軟な対応が可能となりましたが、五類に移行となり、今後は特例も大きく見直され通常の対応が求められるようになりました。とは言え、現在も一定の感染者が発生しており、飛騨地区は県内でも感染者が多く、八月後半には第九波がくるのではと懸念もある中、高齢者と接する機会が多いケアマネジメント業務においては、一層気を引き締め、感染予防に務めなくてはと改めて考えているところです。

利用者様のご自宅への同行訪問や担当者会議の同席など一連のケアマネジメント業務の流れを体験、学習してもらい、仕事の理解や、やりがいなど感じてもらえる充実した研修となるよう準備を進めています。



ケアマネジャー 荒井 裕美子

ケアプランセンターそれいゆ

通所リハビリテーション

通所室長 大岡 輝 貴
作業療法士

それいゆ通所リハ室が「次につながるために今取り組んでいること」は、部所としての機能性と基礎体力を高めるための業務改善です。

昨年度からの業務マニュアル見直しに加え、現在は業務の見える化と職員各自の能力特性に合わせた役割分担の定着を図っているところですが、新しい物訓練や栄養改善加算、混合介護の検討など新しい事を始めていく上でも部所としてのパフォーマンスが高くなければ成果は得られ難く、即ちそれは職員各自の資質を安定して発揮して貰える仕組みを如何に作る事が出来るかにも依るからです。

一方で地域との関係では、「それいゆのデイさんに頼めば大丈夫」としっかりと頼れる存在として更に認識して頂けるよう、アウトリーチを意識したサービス提供を心掛ける事も重視しており、この辺りの要素に関しては、日々の業務を通じて練度を高める以外に近道はなく、今だけでなく継続的に努力していきたいと思うところです。



それいゆ訪問看護ステーション

理学療法士 長瀬 竜 太郎

今年の四月より、訪問看護ステーションで働かせて頂いております。

理学療法士として学ぶため一度飛騨を離れましたが、就職の時期が近づき働く場所について考えたとき、やはり自分は地元である飛騨で活動していきたい、故郷に貢献したいとの考えが強まり、帰郷致しました。



近年、理学療法士の活躍の場は広く、病院、施設、デイサービス、訪問リハビリテーション、スポーツ分野、行政など多岐に渡りますが、利用者様の普段の生活に近い場所でのリハビリテーションを提供できる訪問の仕事を選びました。私は、自宅での慣れた暮らしを続けられることは、安心に繋がると感じております。そのような場所で、生き生きとした日常を送れるよう支援させて頂けることが、訪問リハビリテーションの利点だと考えております。

リハビリテーションでは、身体能力のみではなく、利用者様の望みや生活習慣、ご家族様の思い、周囲の環境などを総合的に考え、その方に合う理学療法を考える必要があります。理学療法士としての経験を積み、技術を向上させながら、多くの要素に目を向けられるよう、努力して参りたいと思っています。

よろしくお願いいたします。

ヘルパーステーションそれいゆ

サービス提供責任者 小倉 麻 紀

日頃はヘルパーステーションそれいゆをご利用いただきありがとうございます。

スタッフ一同心より御礼申し上げます。

ヘルパーステーションそれいゆでは現在三名の職員で業務を行っております。介護職員の高齢化、人員不足が問題となっているのですが、私たち事業所もまあまあの年齢の同世代三名です。

新型コロナウイルスが五類となり、世の中が以前の生活に戻って来ている中、ご利用者様の快適な在宅生活をお手伝いできるような私たちも心身ともに健康であるよう努めていきたいと思っています。感染対策も引き続き行っています。

今後感謝を忘れず、笑顔をお届けできるよう訪問させていただきます。何卒よろしくお願いいたします。

皆様のお近くで、在宅生活・介護を頑張る過ぎてみえる方、困ってみえる方はいらっしゃいませんか？

ヘルパーステーションそれいゆへご相談ください。



五月八日から新型コロナウイルスが五類に分類後、マスクをしていない人を見かけるようになり、レザミから見えるひだホテルにも多くの灯が点り、町に賑わいが戻ってきた感じがします。

これに先立ちシヨーステイではご利用者の誕生日を祝う行事を三年ぶりに一階のレストランで行いました。丁度桜が咲いていて順番に外にお連れしお花見もすることができました。今後面会についても検討していく予定です。

シヨーステイではコロナ禍から利用日初日にシヨートカンファと称しカンファレンスを行っています。

以前は申し送りで情報共有をしていましたが、申し送りは参加者が限られていました。シヨートカンファは勤務者全員参加で、利用者の心身の状態や生活の状態の把握、ケアプランの確認や見直しをすることで情報共有を行うと共にご利用者様をより深く理解し対応できるようにしました。

今後シヨーステイに求められる

- ①介護の代替
- ②レスパイトケア
- ③専門的サービスの提供
- ④社会参加の機会
- ⑤利用者の情報収集・評価
- ⑥施設入所待ち期間の利用
- ⑦体験的利用

の七つの役割を果たせるよう、ご利用者・ご家族様へ安心・安全・快適性の提供を目指し、日々取り組んでいく所存です。



シヨーステイそれいゆ

管理者 長瀬千春

デイサービスセンターれざみ

管理者 宇田輝彦
理学療法士

でも活動の原点になると思います。
今後とも活力ある在宅生活をご支援させて下さい！



りあん・ど・それいゆ

管理者 阿礼由美香

新型コロナウイルス対策で、ご利用者並びにご家族、関係者の皆様にはご理解とご協力頂きまして誠にありがとうございます。

りあんのある中山町は、沢山の花が咲きますし、鳥のさえずりがよく聞こえてきます。桜と藤等が満開になった際には、運動と気分転換を兼ね散歩に出掛けました。登下校の児童・生徒の元気な姿や、体育祭練習の声も聞こえてくるので、りあんからグラウンドをみて応援できますし、飛騨山脈もきれいにみられる最高の場所です。

施設内では、中山中の生徒に負けないように体の体操はもちろんの事、脳トレにも力を入れています。利用者様が飽きずに取り組めるものを職員が手作りをしています。今後も楽しんで取り組めることを計画していきます。

利用者様の平均年齢は八十五・一歳。特別養護老人ホームへの入所や、身体レベルが低下してしまわれたため、利用を継続できなくなる方がみられ、現在空きがございません。

機械浴対応のお風呂が無いため、短距離でも歩ける方が対象になります。少しでも興味を持たれた方は、見学もしていただけますので是非ご連絡ください。お待ちしております。



まわれたため、利用を継続できなくなる方がみられ、現在空きがございません。

機械浴対応のお風呂が無いため、短距離でも歩ける方が対象になります。少しでも興味を持たれた方は、見学もしていただけますので是非ご連絡ください。お待ちしております。



シャロン・ド・それいゆ

管理者 牧田 功

新型コロナウイルス感染症も第五類に変更となり、町には観光客であふれて、少しづつ以前の生活に戻ってきております。皆様には小規模多機能型居宅介護サービスシャロン・ド・それいゆをご利用いただきありがとうございます。

シャロンも本年三月に開設して十年を迎えました。設備についてはプライバシー保護と、利用者サイドに立つて必要なものや過ごしやすさを念頭に環境の整備に努めて参りました。また、サービスにつきましてはより良いサービスの提供ができるように、さらなる十年努力していきたいと思っております。

1. **少しでも季節感の感じられる環境作り。**
プランターを利用して野菜や花を育て、収穫の楽しみや花をめでることで季節感を感じていただき、楽しみのある生活が送って頂けるように努めております。

2. 併設の折茂医院との連携を行い、定期的バイタルチェック、身体状態の確認により、**身体管理と異常の早期発見に努め、健康に毎日をすごしていただく事**を目的とし、安心した生活が継続できるように努めています。

3. **利用者の言葉に耳を傾け、利用者に必要なサービスと介護を職員一同が共通した認識として持ちサービスの提供に繋げることが、小規模多機能型居宅介護の目的であり、この実現に今後日々努めて参りたいと思っております。**

シャロン・ド・それいゆは自立した方から、看取りまで、介護度に合わせて介護の相談・提案も行っています。**見学・相談は随時受け付けております。お気軽に連絡下さい。**



病児保育室プティそれいゆ

管理者 中谷 美穂

平素より病児保育室の運営にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの変化に伴い、生活にもいろいろな変化がありました。そしてコロナ禍からの正常化を進めようとする今こそ、親御さんの環境の変化も多いのではないのでしょうか。

病児保育室でもお預かり方法などその都度見直してまいりましたが、その時一番念頭に置いたことは、何がお子さんにとって必要か、最善かということです。子育てとの両立に悩む共働きの親御さんの声を聞く中で、職場を



含め社会全体の課題も多くありますが、オンラインの普及によって希薄になってしまった「人と人のつながり」を持てるようなサポートを心がけています。

私たちが目指してきたことは、単なる就労支援としての保育ではありません。親御さんには「子供のために自分が元気でいよう」、「子供のためにサポートを受けよう」と思っているだけのような支援を目指していきます。

* 編集後記 *

新型コロナウイルス感染症が五類感染症に位置付けされました。この三年三か月を皆さんはどのような思いで過ごされていたのでしょうか。

山岳地帯にある飛騨地方では、厳冬ののち、春の訪れを感じられる四月半ばから各地で春祭りが行われます。

先月、法人の事業所が所在する地域の例祭がありました。久しぶりの通常規模での開催と、巡行が事業所にも立ち寄ってもらえるということで、利用者さんも職員もワクワクした思いで当日を迎えました。

晴れ渡った青空に闘鶏楽のカンカコカンの響きや祭囃子に彩られて舞う獅子舞いと祭り行列、それを観覧して喜ぶ人々の姿の情景は、ようやく飛騨にも伝統行事を心から楽しめる時間が戻ったこと、イベントの高揚感人を元気にしてくれる、ということ改めて実感させてくれました。

コロナ禍での様々な制限が課せられる状況を憂い、街を明るく元気に！子供たちが育つ環境を活気があるものにしていく！と、地域の皆さんがどんなに努力されてきたでしょう。顔を見て、相手の表情をみてコミュニケーションすることはケアを提供する私達の仕事でも重要な要素です。

長い自粛生活によって身体への弊害が知らず知らずのうちに蓄積し、転倒しやすくなった人が増えたそうです。

最近では心身の回復を図ろう！と様々なアイデアが盛り込まれた情報が提供されています。人には生まれながら適応免疫システムという素晴らしいものが備わっています。私達も有効にそれを機能させる術を考えて利用者さん、職員皆が元気の出るサービスをどんどん発信していきたいと思っています。

どうぞ今年度もよろしくお願ひいたします。



獅子の迫力で今年も元気で過ごせますように！